

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	職員間での事業所理念の共有と実践が不十分である	職員で話し合い自分達の事業所理念を作り上げる	年間を通じて職員会議の席で自分達の目指すケアについて話し合いを重ね 平易な言葉を選んで誰もが理解でき納得できる理念を作りあげて行く	12ヶ月
2	6	身体拘束をしない取組が不十分である	職員全員が身体拘束や虐待防止に関する研修を受講し、身体拘束について話し合いを重ね意識改革を行う	研修計画を見直し、各職員が身体拘束に関する研修を受講できるようにする 受講した職員は伝達研修を行い、身体拘束に関して話し合う機会を増やすようにする	12ヶ月
3	35	避難訓練の実施が不十分である	2回/年の避難訓練を実施し、その内1回は必ず夜間を想定した訓練を行う	避難訓練の実施の際 通報訓練や避難経路等の具体的な事柄について繰り返し確認出来る様にして行く	12ヶ月
4	33	看取りについての研修が不十分であり、全職員での入所者が重度化した場合の取り組みが不足している	看取りについての検討をすすめ、職員間での意思統一を図る	看取りについての研修を受講し、日頃から入居者が重度化した場合についてや緊急時の対応についての話し合いを重ね、当ホームでの看取り指針を具体化する	12ヶ月
5	4	地域運営推進会議の定期的開催が出来ていない	1回/2ヶ月の開催が出来る 沢山のご意見が頂けるよう 区役所や小中学校、消防署などのご参加も呼びかける	奇数月、第3水曜日に開催する事とし、不参加の方々には議事録を配布し情報発信を行って行く	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。